

追跡

— あの質問のゆくえ —

均等な基盤整備事業を

鷹山地区の総合整備事業計画は、どのようにすすんでいるか伺います。

平成17年9月定例議会

町長答弁

新規の総合整備事業は、厳しいものがあります。今後は、生産基盤に絞り込んだ農地環境整備事業として申請を行うことにしています。平成18年度の新規採択に向けて、営農計画の策定を地域一体となり、取り組んでいきます。

どうなった



萩野地区のほ場

鷹山地区の総合整備事業については、関係機関に働きかけを行いました。現在の社会情勢を考えると、事業の採択は難しいと判断しています。萩野地区を最優先に、農地環境整備事業で事業申請をしていましたが、平成23年度新規採択に向け、県営萩野地区耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業で、約25haのほ場整備事業を申請します。この事業は耕作者の高齢化、担い手不足で耕作放棄地が増加し地域の農地が荒廃することを防止し、担い手農家に集積を行い、また地域の営農計画を樹立し、集落営農に取り組む事業です。

がんばっています



シリーズ5 鈴木 清澄さん

Q 就農した動機と時期

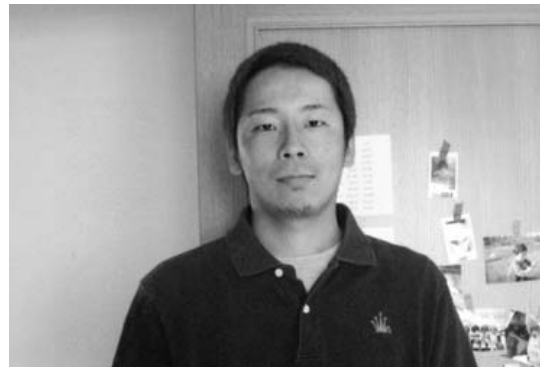
A 7年前、大学卒業と同時に、家業であった農業に興味を持ち就農した。

Q 就農して感じたこと

A 毎年、同じ作物を作ることの難しさ。

Q 将来の夢

A 子どもたちが興味を持てるような百姓になりたい。



編集後記



今年の6月は、紺野貞郎町長の衝撃的な訃報を耳にすることから始まりました。数日後には、「鳩山総理が辞任」のニュースがありました。時の変遷を思わせる出来事でした。まちづくり町政座談会が7月中旬に各地区で実施されます。保育園・学校などの公共施設の整備について、町民の皆さんからご意見をいただく機会としています。

少子・高齢社会が進行するなか、どのような町にしたいのか10年後を想像し、明るく夢のある議論をしたいものです。

「経済」は経世済民の略。世の中をおさめ、人民を救うこととし「政治」が同義語になるとあります。

参議院議員選挙で国民の審判がくだされました。いつの世にも求められるのは、弱者救済の政治ではないでしょうか。

(関)

発行責任者・議長	船山 仁
広報委員	
委員長	青木 彰 榮
副委員長・編集長	関 千鶴子
委員	守谷 丹吾
委員	菅原 隆男
委員	佐藤 京一
印刷	長谷川印刷